

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201705810010E1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	庵谷 治男 / Haruo Ootani		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	庵谷 治男 / Haruo Ootani		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	庵谷 治男 / Haruo Ootani		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由科目(専門)		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201705810010E2	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	島田 章 / Shimada Akira		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由科目(専門)		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201705810010E3	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤田 泰昌 / Taisuke Fujita		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目(専門), 自由科目(専門)		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201705810010E4	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤田 渉 / Fujita Wataru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤田 渉 / Fujita Wataru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤田 渉 / Fujita Wataru		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門), 自由科目 (専門)		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201705810010E5	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFY 11111_001		
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門), 自由科目 (専門)		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20170561001050	科目番号 / Subject code	05610010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報処理入門 / Introduction to Computer Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Class type	情報処理科目, 情報処理科目, 教職免許科目・その他, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館6F 631		
担当教員TEL / Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義時間前後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jp にて受け付けています。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>【授業の概要】 情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっています。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次に身につけることとしています。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得を目指します。</p> <p>【授業の位置づけ】 本科目は全学教育における情報処理科目です。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>情報端末を用いて正しく情報を扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とします。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる ・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる ・インターネット (Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる 		
授業方法 (学習指導法) / Method	<p>授業は、講義と演習を組み合わせを進めます。 講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出します。 主体的学修促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。 授業は各自が所有するノートパソコンを用いて実施するので、毎回のノートパソコン持参を必須とします。 履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講して下さい。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H27/pc-hikkei.pdf</p>		
授業内容 / Class outline / Con	原則として指定された教科書の内容に沿って授業を進めますが、進捗や理解度の状況に応じて若干の変更を行うことがあります。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書「情報基礎」にある演習を事前に予習として実施し、講義後に発展的な演習を行いません。		
キーワード / Key word	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書: 「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意して下さい)。 上繁義史, 「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」, 培風館, 2016年, ISBN978-4-563-01593-0 教材: 必要に応じて、資料や課題などをLACSにて公開します。</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>定期試験 30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。 演習課題 60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。 授業への参加状況 10% 作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点とします。</p>		
受講要件 (履修条件) / Requirements	Windows 10及びMS-Office Professional / Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第01回 【ガイダンス】	授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続、LACSの基本操作実習、電子メールの操作実習 必ずノートパソコンを持参すること。
第02回 【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】	(情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連) 情報倫理、ネチケット、個人情報保護など
第03回 【PCとLACSの活用】	LACS紹介と操作実習、電子メール利用実習、Office365セットアップ
第04回 【コンピュータとネットワークの基礎1】	コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第05回 【表計算1/4】	Microsoft Excelの基礎、基本操作、データ・数式・関数の入力、セルの参照、表の書式設定
第06回 【表計算2/4】	表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成、データの検索、複数シートを使ったデータ処理
第07回 【表計算3/4】	関数、表示形式設定、条件付き書式、高度なグラフの作成
第08回 【表計算4/4】	ピボットテーブル、データベースの活用、マクロ活用
第09回 【情報のデジタル化】	情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化
第10回 【文書作成1/2】	Microsoft Wordの操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回 【文書作成2/2】	ページの設定、印刷方法、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回 【コンピュータとネットワークの基礎2】	コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第13回 【プレゼンテーション1/2】	プレゼンテーションとは、資料作成上の留意点、PowerPointについて
第14回 【プレゼンテーション2/2】	プレゼンテーション実習
第15回 【総合演習】	授業の振り返り
【定期試験】	まとめ、試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170562020001	科目番号 / Subject code	05620200
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康・スポーツ科学 / Science of Health and Sports		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山内 正毅 / Yamauchi Masaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山内 正毅 / Yamauchi Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山内 正毅 / Yamauchi Masaki, 渡邊 勝平 / Watanabe Shiyuhei, 飛奈 美耶子 / Miyako Tobina, 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 林田 雅希 / Hayashida Masaki, 小川 さやか, 古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 蔵本 明子 / Kuramoto Akiko		
科目分類 / Class type	健康・スポーツ科学科目, A健康コンディショニング科目, 健康・スポーツ科学科目, 自由選択科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	山内正毅: yamauchi@nagasaki-u.ac.jp 田井村明博: taimura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	山内正毅: 教育学部保健体育 山内研究室 田井村明博: 環境科学部2F(228)		
担当教員TEL/Tel	山内正毅: 095-819-2357 田井村明博: 095-819-2761		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	健康や身体運動に関する身体的、生理的特性、またはその社会的側面などについて理解を深め、実生活で役立つ知識の獲得をねらいとする。		
授業到達目標/Goal	生活習慣に関連する身体的・精神的疾病の基礎を説明できるようにする。生活習慣と健康、身体運動と健康の関連性を説明できるようにする。個々の生活習慣を振り返り、生活習慣を少しでも改善できるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業で配布する資料を用いて健康や身体運動に関する基礎知識を講義形式で説明する。適時、身近なデータを用いた計算、分析、各自のライフスタイルなどの振り返りなどの演習もおこない実生活に役立つ知識も提供する。		
授業内容/Class outline/Con	以下のテーマに従って健康や身体運動に関する身体的、生理的徳用またはその社会的側面などについて理解を深める。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	健康、生活習慣病、生涯スポーツ、身体運動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。 参考書: 学生と健康, (編) 国立大学等保健管理施設協議会, 南江堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートまたは小テストの合計100%。毎回のテーマに関するレポートを総合して評価する。各週のレポートあるいは小テストは、10点満点で評価し、1.5回の平均で評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	田井村明博: 運動と健康		
第2回	田井村明博: 運動と筋肉		
第3回	田井村明博: 運動とエネルギー代謝		
第4回	飛奈美耶子: 体力トレーニング法 1		
第5回	飛奈美耶子: 体力トレーニング法 2		
第6回	山内正毅: 運動学習の心理学		
第7回	渡邊勝平: 障がい者スポーツ		

第8回	藏本明子：歯と歯ぐきの健康
第9回	古林正和：生活習慣病(1)
第10回	古林正和：生活習慣病(2)
第11回	林田雅希：心の健康(1)
第12回	小川さやか：心の健康(2)
第13回	古林正和：青年期に健康を考える
第14回	大石和代：青年期の性
第15回	田井村明博：総括(まとめ)
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/02/09		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0, 0.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170566005050	科目番号 / Subject code	05660050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	社会と歴史(社会科学からみた安全・安心) / Society and History		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakanishiy nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館604号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6354		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポ(nakanishiy@nagasaki-u.ac.jp)を取る		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	産業界(特に航空業界)の実践例の理解を通じて、安全やリスクに関する基本的な考え方を習得する。		
授業到達目標/Goal	日常生活において、適切にリスクを回避し安全な行動を取れるようになることを目指す。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義(パワーポイント使用)により基本的な事項を解説した上で、小レポート作成及びグループ演習、ならびにこれらへのフィードバック・共有を通じて理解の浸透を図る。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. プレインストーミング 3. 安全とリスク 4. リスクマネジメント 5. ヒューマンエラー 6. ヒューマンエラー(続) 7. コミュニケーションと安全 8. ヒューマン・マシン・インターフェース 9. 集団作業 10. 組織安全と安全文化 11. レジリエンスと高信頼性組織 12. 事故調査と犯罪捜査 13. 安全のためのヒント 14. 安全に行動するために 15. まとめ 16. テスト 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	安全, リスク, ヒューマンファクター, コミュニケーション, 組織		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	使用しない		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(50%), 授業への参加度(50%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ちょっとした心がけと行動で、日常における安全は大きく向上する。そのような行動を身に付けてもらいたい。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		

第2回	ブレインストーミング
第3回	安全とリスク
第4回	リスクマネジメント
第5回	ヒューマンエラー
第6回	ヒューマンエラー（続）
第7回	コミュニケーションと安全
第8回	ヒューマン・マシン・インターフェース
第9回	集団作業
第10回	組織安全と安全文化
第11回	レジリエンスと高信頼性組織
第12回	事故調査と犯罪捜査
第13回	安全のためのヒント
第14回	安全に行動するために
第15回	まとめ
第16回	テスト

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170566011007	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 省三 / Yoshida Shozo, 吉田 省三 / Yoshida Shozo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yosida-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本国憲法97条は、人権を「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」であると同時に「過去幾多の試練に堪へ」てきたという。日本国憲法は、憲法「改正」という現在の「試練」に堪えられるか、憲法を人類の歴史のなかにおいてとらえ直してみよう。		
授業到達目標 / Goal	世界および日本の憲法の歴史、憲法の基本的概念、主要な憲法判例を理解する。個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教科書を使用し、人権の思想、人権のためのたたかい、日本国憲法の主要な事件、判例を解説する。		
授業内容 / Class outline / Con	憲法の過去 立憲主義の歴史、現在 人権の実現の状況、未来 改憲問題について講義します。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	立憲主義、民主主義、共和主義		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	(は必修です) 教科書 芦部信喜『憲法第六版』岩波書店 教材 「日本国憲法」「大日本帝国憲法」等を収録する法令集 自由民主党憲法改正推進本部『日本国憲法改正草案Q&A増補版』2013年 参考書 森英樹『大事なことは憲法が教えてくれる』新日本出版、2015。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(100%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	無し。		
アクセシビリティ / Accessibility			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日本国民はいま、憲法の規範を政府の解釈によって変更するという差し迫った課題をつきつけられています。日本国憲法のひとつひとつの条文のもつ重みを受けとめてみましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	憲法の過去： 立憲主義、憲法とは何か。「人権を承認せず、権力の分立が無い人民は憲法をもたない。」		
第2回	ブルジョア革命と人権		
第3回	人権宣言 - 合州国「独立宣言」、フランス革命「人権宣言」		
第4回	日本の人権思想		
第5回	日本国憲法とその歴史(1)		

第6回	日本国憲法とその歴史（2）
第7回	憲法のキーワード： 権利と義務（1）
第8回	憲法のキーワード： 権利と義務（2）
第9回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（1）
第10回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（2）
第11回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（3）
第12回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（4）
第13回	憲法と国際社会
第14回	憲法の未来： 憲法「改正」問題（1）
第15回	憲法の未来： 憲法「改正」問題（2）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170567007050	科目番号 / Subject code	05670070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間と環境(公害環境問題と社会) / Human and Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Class type	人間科学科目, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済学部夜間主 1 - 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信するを@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部4階 環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜16-17時 在室のときならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「安全で安心できる社会」の選択科目		
授業到達目標/Goal	代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できるようになることを目指す。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に映像をまじえた講義方式で行うが、口頭や毎回の質問感想用紙による質疑応答を取り入れて理解度を探りながらすすめる。必要に応じてプリントを配布し、OHPなどを利用して理解を助ける。		
授業内容/Class outline/Con	<p>具体的な事例を通じて、公害・環境問題への多面的・学際的なアプローチを学ぶ。15回目はまとめ、16回目は定期試験。予定を変更したり、順番を入れ替えたりすることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨン 2 水俣病 なぜ半世紀も混乱が続くのか 3 水俣病その2 4 カネミ油症 40年かかってわずかな前進 5 女子割礼問題 6 リニア中央新幹線のメリットとデメリット 7 福島原発事故と甲状腺がん 8 放射線ひばく労働 9 10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物 10 農業問題 とくにネオニコチノイド系 11 遺伝子組み換え作物 12 石木ダム計画をめぐる紛争 13 ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊 14 自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ 15 まとめ 16 定期試験 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は、戸田清『核発電の便利神話』長崎文献社2017年(予定)。参考書は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、レポート30%		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと(週平均2時間程度)。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 電話 095-819-2006 FAX 095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書を通読すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 10月2日	イントロダクション
2 10月16日	水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか
3 10月23日	水俣病その2
4 10月30日	カネミ油症 40年かかってわずかな前進
5 11月6日	女子割礼問題
6 11月13日	リニア中央新幹線のメリットとデメリット
7 11月20日	福島原発事故と甲状腺がん
8 11月27日	放射線被ばく労働
9 12月4日	10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物
10 12月11日	農業問題 とくにネオニコチノイド系
11 12月18日	遺伝子組み換え作物
12 12月25日	石木ダム計画をめぐる紛争
13 1月15日	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊
14 1月22日	自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ
15 1月29日	まとめ
16 2月5日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170582001050	科目番号 / Subject code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Subject	情報基礎 / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Class type	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 2 0 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館6F 631		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義時間前後、および、sigh nagasaki-u.ac.jp にて受け付けています。 (メールを送信する際は を@に変換して送信して下さい)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>【授業の概要】 情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっています。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次に身につけることとしています。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得を目指します。</p> <p>【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における情報科学科目です。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>情報端末を用いて正しく情報を扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とします。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる ・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる ・インターネット (Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>授業は、講義と演習を組み合わせを進めます。 講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出します。 主体的学修促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。 授業は各自が所有するノートパソコンを用いて実施するので、毎回のノートパソコン持参を必須とします。 再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講して下さい。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H27/pc-hikkei.pdf</p>		
授業内容/Class outline/Con	原則として指定された教科書の内容に沿って授業を進めますが、進捗や理解度の状況に応じて若干の変更を行うことがあります。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書「情報基礎」にある演習を事前に予習として実施し、講義後に発展的な演習を行いません。		
キーワード/Key word	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書: 「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意して下さい)。 上繁義史, 「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」, 培風館, 2016年, ISBN978-4-563-01593-0 教材: 必要に応じて、資料や課題などをLACSにて公開します。</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>定期試験 30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。 演習課題 60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。 授業への参加状況 10% 作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点とします。</p>		
受講要件 (履修条件) /Requirements	Windows 10及びMS-Office Professional / Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第01回 【ガイダンス】	授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続、LACSの基本操作実習、電子メールの操作実習 必ずノートパソコンを持参すること。
第02回 【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】	(情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連) 情報倫理、ネチケット、個人情報保護など
第03回 【PCとLACSの活用】	LACS紹介と操作実習、電子メール利用実習、Office365セットアップ
第04回 【コンピュータとネットワークの基礎1】	コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第05回 【表計算1/4】	Microsoft Excelの基礎、基本操作、データ・数式・関数の入力、セルの参照、表の書式設定
第06回 【表計算2/4】	表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成、データの検索、複数シートを使ったデータ処理
第07回 【表計算3/4】	関数、表示形式設定、条件付き書式、高度なグラフの作成
第08回 【表計算4/4】	ピボットテーブル、データベースの活用、マクロ活用
第09回 【情報のデジタル化】	情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化
第10回 【文書作成1/2】	Microsoft Wordの操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回 【文書作成2/2】	ページの設定、印刷方法、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回 【コンピュータとネットワークの基礎2】	コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第13回 【プレゼンテーション1/2】	プレゼンテーションとは、資料作成上の留意点、PowerPointについて
第14回 【プレゼンテーション2/2】	プレゼンテーション実習
第15回 【総合演習】	授業の振り返り
【定期試験】	まとめ、試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586013750	科目番号 / Subject code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12111_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心な社会への取組 (健康と医療の安全・安心) / Safety and Security in Medicine and Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 尚樹 / Matuda Naoki, 林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 大沢 一貴 / Ohsawa Kazutaka, 中山 守雄 / Nakayama Morio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 尚樹 / Matuda Naoki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 尚樹 / Matuda Naoki, 大沢 一貴 / Ohsawa Kazutaka, 中山 守雄 / Nakayama Morio		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済学部 (夜間主)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nuric@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	原爆後障害医療研究所 放射線生物・防護学分野		
担当教員TEL/Tel	819-7163		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前連絡により随時対応		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	五感で感じないうちに我々に忍び寄り、健康に重篤な影響を及ぼすこともある原発事故による放射性物質の拡散や鳥インフルエンザ感染の拡大は、人々の安全と安心を大きく揺るがしてきた。本授業では、放射線と人獣共通の感染症を基礎医学生物学及び薬学の観点から正しく理解することを狙いとして、その本体、健康リスク、予防、診断及び治療などに関わる基礎知識を習得する。また、グループディスカッションにより、健康における安全と安心についての自らの考えを深める。		
授業到達目標 / Goal	放射線と放射性物質の基礎、健康影響、利用、測定、防護について正しい知識に基づき自分の考えを導くことができるようにする。また、実験動物および動物実験を取りまく法令体系を理解し、法律を知らないリスク、人獣共通感染症を知らないリスクについて学ぶ。		
授業方法 (学習指導法) / Method	3名の教員がオムニバス形式で放射線と感染症を担当し、PCを用いて講義を行う。一部、放射線の測定等のデモンストレーションを行なう。終盤には提示された課題に対するグループディスカッションとプレゼンテーションを行なう。		
授業内容 / Class outline/Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	放射線、放射能、原子力、感染症、動物実験		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは用いず、授業計画に沿った資料を配布する。資料はLACSでも閲覧可能。 参考図書： やさしい放射線とアイソトープ (社)日本アイソトープ協会 丸善 (1,000円) 原子力災害に学ぶ放射線の健康影響とその対策 長瀬重信著 丸善出版 (2,500円) リスクのモノサシ -安全・安心生活はありうるか- 中谷内一也著 NHKブックス (970円) 実験動物としてのマウス・ラットの感染症予防対策 (社)日本実験動物学会監修 アドスリー (2,650円)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	1回から10回: 定期試験50%、授業中の課題に対する積極的な取組状況50% 11回から15回: 定期試験20%、授業中の課題に対する積極的な取組状況80%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業外学習に週平均2時間以上を充てること。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	放射線、感染症に関する情報(新聞、テレビ、ネット、種類は問わない)にアンテナを立てておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	実験動物: 経済動物と愛玩動物の間 (10/3 大沢)		
第2回	実験動物と動物実験 (10/10 大沢)		
第3回	動物実験と社会 (10/17 大沢)		
第4回	人獣共通のウイルス感染症 (10/24 大沢)		
第5回	人獣共通の細菌感染症 (10/31 大沢)		

第6回	放射線の基礎 (11/7 松田)
第7回	放射線の影響 (11/14 松田)
第8回	原子力発電と福島事故 (11/21 松田)
第9回	放射線リスクの考え方 (11/28 松田)
第10回	課題学習 (12/5 松田)
第11回	放射性同位元素 (RI) とは何か -放射性物質の基礎知識- (12/12 中山)
第12回	提示される課題に対して、グループディスカッション (12/19 中山)
第13回	提示される課題に対して、グループディスカッション (1/9 中山)
第14回	提示される課題に対して、グループディスカッション (1/16 中山)
第15回	グループ・プレゼンテーション, 全体討論 (1/23 中山)
第16回	定期試験 (2/6)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586014550	科目番号 / Subject code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12131_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心な社会への取組 (科学と技術の安全・安心) / Risk and Safety in Science and Technology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]本館22 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部流体エネルギー工学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。		
授業到達目標 / Goal	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのかが、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的な事項について、講義により学習をする。さらに、テーマをもとに、みんなで安全・安心について考えて意識を高める。 安全・安心に関する提案を発表する。		
授業内容 / Class outline / Con	人間が安全で快適な生活を送るために、科学技術の発展が図られてきた。一方で、個人などでは処理できないさまざまなシステムが働いている。その中で、安全を維持し安心を図るために必要な基本的な考え方を習得するとともに、組織の中で個人が取り組む安全・安心の意識を育てる。 ・社会では様々な事故が発生し、貴い命が失われることも多い。そのような事故が起こらないように安全を確保することが重要である。そのためには何が重要かを事故の事例とその原因を考えながら学習する。 ・身のまわりの電気機器や電磁波を中心に、目に見えないものが身体へ及ぼす影響について、安全をどうとらえ、安全安心へどのように取り組まれているかを紹介し、安全安心を考える。 ・身のまわりのさまざまな物質に関して、安全を確保するための規制や法律等さまざまな考え方をもち、安全への取り組みを紹介し、安全安心を考える。する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全・安心工学入門 (古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について
第2回	第2回 事故の事例と安全意識
第3回	第3回 事故原因の解析法の紹介
第4回	第4回 災害とリスクマネジメントについて
第5回	第5回 リスクマネジメントの事例紹介
第6回	第6回 安全文化について
第7回	第7回 安全安心の意識調査 安全安心に関する提案のグループ分け
第8回	第8回 安全・安心に関する法律 安全安心に関する提案の打ち合わせ1
第9回	第9回 電気に関する安全安心1 安全安心に関する提案の打ち合わせ2
第10回	第10回 電気に関する安全安心2 安全安心に関する提案の打ち合わせ3
第11回	第11回 安全安心に関する提案の発表会
第12回	第12回 電磁波に関する安全安心 安全安心に関する提案の総評
第13回	第13回 化学物質の安全・安心 その1
第14回	第14回 化学物質の安全・安心 その2
第15回	第15回 化学物質の安全・安心 その3
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586028150	科目番号 / Subject code	05860281
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心な社会への取組 (経済と生活の安全・安心) / Safety and Security in the Economy and Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi, 林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	森保 洋 / Moriyasu Hiroshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館22 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	moriyasu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部東南アジア研究所3階313番研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日17時40分より18時まで。その他の時間帯における質問についてはメールにて相談すること。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本講義では、様々な金融資産の特徴を理解したうえで、金融リスクをコントロールすることの重要性とその手法について学習する。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・証券市場の構造について説明できるようになる。 ・証券投資の基礎理論を理解し、実際に証券投資を行うための基礎知識を習得する。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	指定教科書の解説に加え、日本証券業協会・東京証券取引所が提供する「大学生のための株式学習ゲーム」に参加し、現実の経済・社会を会社を身近に体感することを試みる。		
授業内容 / Class outline / Con	証券投資を行うために必要な証券市場の構造と証券投資の基礎理論、株式会社に関する基礎知識を学習する。また、並行して「大学生のための株式学習ゲーム」に参加し知識の定着をはかる。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	榊原茂樹ほか(2013)『入門証券論』第3版、有斐閣 東京証券取引所・日本証券業協会『大学生のための証券市場と株式会社の基礎知識』		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への参加・貢献度(30%)、期末試験(70%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学のお妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	「大学生のための株式学習ゲーム」に参加するため、講義にはインターネットにアクセスできるパソコンあるいはスマートフォンを持参下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	評価の基本原則		
第3回	企業分析		
第4回	株式市場		
第5回	株式分析(特別講師:岡上先生・伊福先生)		
第6回	債券市場		
第7回	債券分析		
第8回	ポートフォリオ理論と資本市場理論(1)		
第9回	ポートフォリオ理論と資本市場理論(2)		

第10回	デリバティブ市場
第11回	デリバティブ価格と投資戦略
第12回	グローバル投資と各国の証券市場
第13回	行動ファイナンス
第14回	オルタナティブ投資
第15回	授業の総括
第16回	期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6, 月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587026903	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会の追及 (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小関 弘展 / Koseki Hironobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 2 0 1 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2nd year students		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koseki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	Dept of Health Sciences 3F		
担当教員TEL / Tel	095-819-7961		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Wednesday, am		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	It is aimed to learn and to investigate about various problems occurring in the medical and care field.		
授業到達目標 / Goal	The goal of this seminar is to acquire the knowledge about safety in medical and care field and to master the technique against various concerns. By the end of the course, students have acquired the knowledge in the following.) 1. Locomotive syndrome and Frailty 2. Infection and risk management 3. Complications and malpractice 4. Heredity medical care		
授業方法 (学習指導法) / Method	A series of omnibus lectures is given by instructors. The main methodology of this seminar is an active discussion between the instructor and students followed by the lectures of special topic in the medical field.		
授業内容 / Class outline / Con	To study the latest trends of basic and clinical researches in medical field/ Contents: 1. Locomotive syndrome and Frailty 2. Infection and risk management 3. Complications and malpractice 4. Heredity medical care		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	Locomotive syndrome・Frailty・Infection・risk management・Complications・malpractice・Heredity medical care		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	None specified. Printed or electronic materials will be distributed accordingly		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Reports:30%, Participation and contribution:30%, Subject at last lecture of each course:40%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	None		
アクセシビリティ / Accessibility	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	None		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6, 月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/06/05 ~ 2017/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587026903	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会の追及 (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小関 弘展 / Koseki Hironobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小関 弘展 / Koseki Hironobu, 佐々木 規子 / Sasaki Noriko, 長井 一浩 / Nagai Kazuhiro, 石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koseki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	医学部保健学科3F		
担当教員TEL/Tel	095-819-7961		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日午前中		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	医療や介護の現場で起こる諸問題を取り上げ、人間の安心と安全とは何かを学修するとともに、自らの社会生活の中での危機管理に応用する。		
授業到達目標/Goal	医療や介護現場における安心安全の内容とその背景を知識として習得し、諸問題への対応力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	各教員 (4名) の専門分野で話題になっている事象や諸問題について講義する。必要に応じてグループワークや実技を交え、課題に対する話し合いと発表の場を設ける。担当教員と学生が質問や意見をし合うことで活発な討議を進める。		
授業内容/Class outline/Con	<p>医療技術の進歩は人間の死や疾病への不安を和らげるが、その一方で医療過誤や医療訴訟、感染症の拡大や遺伝子治療の是非などの問題が取りざたされている。また、超高齢社会の介護、福祉分野における課題も山積している。実際に医療や介護の現場で働く人たちの活動や葛藤を通して、医療における安心とは何かを問うていく。</p> <p>各講師の主な授業内容を示す。</p> <p>小関弘展 (医学部保健学科教授) : 加齢, 介護 生物としてのヒトは加齢による身体的変化を許容しなければならず、日常生活動作が自立できなくなれば介護の対象となる。要介護となれば、基本的行動である移動能力や日常生活動作、摂食嚥下機能が障害され、免疫力低下や呼吸器や循環器などの臓器障害、認知症の発症を惹起し、生命を脅かす状態へと発展する。近年、フレイルやロコモティブシンドロームは国家の基本指針にも盛り込まれ、官民あげて介護予防に取り組んでいる。人の加齢性変化と介護予防の現場を知り、国民ひとりひとりが取り組むべき課題について討論していく。</p> <p>石松祐二 (医学部保健学科教授) : 感染症, リスクマネジメント 本邦では経済状況と公衆衛生の向上により、多くの古典的伝染病は減少してきた。また、医療技術の目覚ましい進歩により、従来不可能だった手術や薬物治療が可能となった。一方で、高齢者の増加に伴って免疫力の低下した患者が増加し、従来病原細菌と認識されなかった細菌が臨床の場で大きな問題となっている。発達した交通網によって全世界的に感染症が蔓延する危険も併存する。更に、医療訴訟や個人情報管理などの問題も指摘されている。こうした医療現場を取り巻く諸問題を通して、医療現場の安心について理解を深める。</p> <p>長井一浩 (大学病院講師) : 医療の不確実性 (合併症と医療過誤) 医療技術の高度化は自然科学としての医科学の進歩を基盤としている。しかし、実際の診療現場で行われる医療行為は、患者 (ヒト) を対象としているため、学問としての「サイエンス」のみで成り立つものではなく、多種多様なリスクを伴わざるを得ない。本講では、医療現場における合併症や医療過誤とそのマネジメントへの取り組みを供覧することを通じて、現代医療の根底に横たわる「不確実性」とそれを取り巻く医療者・患者・社会間の諸相を考察する。</p> <p>佐々木規子 (医学部保健学科助教) : 遺伝 遺伝医療は、近年急速に進歩しており、診断、治療、健康管理などにおいて幅広く応用されている。しかし一方で、未だ存在する遺伝に対する偏見や差別、遺伝情報の特殊性により遺伝の問題はより複雑化している。遺伝医療の現状を知るとともに、誰にでも起こり得る遺伝の問題について考える。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	医療、加齢、介護、感染症、リスクマネジメント、医療過誤		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はなし。 各単元ごとに講義用資料を提供する。 随時、講義のテーマに関するURLや参考文献を提供する。
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各講義後に提出するレポート(30%)、講義への参加・貢献(30%)、各単元の最終講義時に提示する課題(40%)で総合的に判定して成績評価を行います。 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格となります。
受講要件(履修条件)/Requirements	全学モジュール「安全で安心できる社会」を受講した学生
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用です。 特に理由がない限り、講義には出席してください。 レポートは出席評価にもつながりますので注意してください。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587027303	科目番号 / Subject code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会の追及 (社会科学からみた安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakanishiy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館604号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6354		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポ (nakanishiy@nagasaki-u.ac.jp) を取る		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	産業界(特に航空業界)の実践例の理解を通じて、安全やリスクに関する基本的な考え方を習得する。		
授業到達目標/Goal	日常生活において、適切にリスクを回避し安全な行動を取れるようになることを目指す。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義(パワーポイント使用)により基本的な事項を解説した上で、小レポート作成及びグループ演習、ならびにこれらへのフィードバック・共有を通じて理解の浸透を図る。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. プレインストーミング 3. 安全とリスク 4. リスクマネジメント 5. ヒューマンエラー 6. ヒューマンエラー(続) 7. コミュニケーションと安全 8. ヒューマン・マシン・インターフェース 9. 集団作業 10. 組織安全と安全文化 11. レジリエンスと高信頼性組織 12. 事故調査と犯罪捜査 13. 安全のためのヒント 14. 安全に行動するために 15. まとめ 16. テスト 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	安全, リスク, ヒューマンファクター, コミュニケーション, 組織		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	使用しない		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(50%), 授業への参加度(50%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ちょっとした心がけと行動で、日常における安全は大きく向上する。そのような行動を身に付けてもらいたい。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	イントロダクション
第2回	ブレインストーミング
第3回	安全とリスク
第4回	リスクマネジメント
第5回	ヒューマンエラー
第6回	ヒューマンエラー（続）
第7回	コミュニケーションと安全
第8回	ヒューマン・マシン・インターフェース
第9回	集団作業
第10回	組織安全と安全文化
第11回	レジリエンスと高信頼性組織
第12回	事故調査と犯罪捜査
第13回	安全のためのヒント
第14回	安全に行動するために
第15回	まとめ
第16回	テスト

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587028103	科目番号 / Subject code	05870281
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12181_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (公害環境問題と社会) / Environmental Issues and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 新館 201 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済学部夜間主 1 - 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	todanagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部4階 環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜16-17時 在室のときならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「安全で安心できる社会」の選択科目		
授業到達目標/Goal	代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できるようになることを目指す。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的に映像をまじえた講義方式で行うが、口頭や毎回の質問感想用紙による質疑応答を取り入れて理解度を深めながらすすめる。必要に応じてプリントを配布し、OHPなどを利用して理解を助ける。		
授業内容/Class outline/Con	<p>具体的な事例を通じて、公害・環境問題への多面的・学際的なアプローチを学ぶ。15回目はまとめ、16回目は定期試験。予定を変更したり、順番を入れ替えたりすることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨ 2 水俣病 なぜ半世紀も混乱が続くのか 3 水俣病その2 4 カネミ油症 40年かかってわずかな前進 5 女子割礼問題 6 リニア中央新幹線のメリットとデメリット 7 福島原発事故と甲状腺がん 8 放射線ひばく労働 9 10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物 10 農業問題 とくにネオニコチノイド系 11 遺伝子組み換え作物 12 石木ダム計画をめぐる紛争 13 ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊 14 自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ 15 まとめ 16 定期試験 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は、戸田清『核発電の便利神話』長崎文献社2017年(予定)。参考書は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、レポート30%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと(週平均2時間程度)。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 電話 095-819-2006 FAX 095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書を通読すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 10月2日	イントロダクション
2 10月16日	水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか
3 10月23日	水俣病その2
4 10月30日	カネミ油症について下田順子さんのゲスト講義 40年かかってわずかな前進
5 11月6日	女子割礼問題
6 11月13日	リニア中央新幹線のメリットとデメリット
7 11月20日	福島原発事故と甲状腺がん
8 11月27日	放射線被ばく労働
9 12月4日	10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物
10 12月11日	農業問題 とくにネオニコチノイド系
11 12月18日	遺伝子組み換え作物
12 12月25日	石木ダム計画をめぐる紛争
13 1月15日	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊
14 1月22日	自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ
15 1月29日	まとめ
16 2月5日	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587029303	科目番号 / Subject code	05870293
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12141_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (水環境の安全と安心) / Introduction to the Engineering for Safe Water Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 冨田 彰秀 / Tada Akihide, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴浩 / Fujioka Takahiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田邊 秀二 / Tanabe Shuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 冨田 彰秀 / Tada Akihide, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴浩 / Fujioka Takahiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	s-tanabe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学研究科(総合教育研究棟7F709)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2659		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00~12:50(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本は地球の温帯地域にあり、四季を通じて降雨があるため水には恵まれてきた。しかし、途上国においては、安全な飲料水の確保は喫緊の問題であり、日本に限らず、先進国の水処理技術の導入が急がれている。この講義では、工学研究科の水環境技術者育成に関わる教員により、水環境に関する技術の現状、問題点を整理し、日本の持つ先進的なモニタリング技術、アセスメント、膜や生物処理を使った最先端水処理技術などを理解することで、普段気づかない水環境の安全・安心について考える。		
授業到達目標 / Goal	水環境に関する問題について解説できる。水環境のモニタリング技術、廃棄物問題、水処理技術について説明できる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法を取り入れる。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	水、膜、廃棄物、水環境、分離、生物処理、シミュレーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要があればプリントを配付し、参考書を紹介する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	講義への積極的参加(40%)、レポート課題の評価(60%)の総合点で評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション: 有明海や水俣湾における水環境の現状		
第2回	水環境モニタリング技術について		
第3回	水道と水源池		
第4回	水源を守る		
第5回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(1)		
第6回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(2)		
第7回	化学薬品、重金属などの危険物質の現状と対策について		
第8回	世界の水環境問題と膜分離技術の貢献について		
第9回	<水を造る>膜分離技術概論 - 現状と展望 -		

第10回	<水を再生する> 膜分離技術概論 現状と展望 -
第11回	水環境生態系の保全と修復
第12回	環境シミュレーションの方法と数値計算の原理
第13回	コンピュータによる数値計算の手続き
第14回	環境問題へのシミュレーションの応用例
第15回	水環境の安全・安心に関する総括と評価試験
第16回	評価結果に対する指導

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6, 月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587054502	科目番号 / Subject code	05870545
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会の追及 (リスクマネジメントと安全文化) / Crisis Management and Safety		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部2年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部1号館3F機械工学		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日午前8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	過去の事故等を調査しその問題討論することにより、安全に対する意識の向上を図る。		
授業到達目標 / Goal	安全を確保するための方法について考え、討論を行うことが出来る。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義、調査、発表、討論からなる演習形式。特に、安全工学の概略について教員から講義を受け、共に討論を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>事故や災害に関わる問題では、設備や装置の安全な設計、それを運転する人間の教育、システムとしてのマネジメント・保守管理、組織(企業・経営)など様々なレベルがあり、各レベルにおける事故原因がある。また、原因ばかりでなく、その影響の大きさや広がりを把握することも重要である。さらに事故や災害時の対応やその後の対策も重要である。各回の授業において、それらについて調査し議論をおこなう。また、リスクアセスメント等の重要な考え方について演習を踏まえて学ぶ。</p> <p>1回 安全工学の概論(その1:リスクアセスメント) 2回 安全工学の概論(その2:安全文化) 3回 安全工学の概論(その3:グループ討議の検討) 4回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その1) 5回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その2) 6回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その3) 7回 調査・討論(対応、その後の経過:その1) 8回 調査・討論(対応、その後の経過:その2) 9回 調査・討論(対応、その後の経過:その3) 10回 調査・討論(事故の分析:その1) 11回 調査・討論(事故の分析:その2) 12回 調査・討論(事故の分析:その3) 13回 調査・討論(事故の分析:その4) 14回 調査・討論(全体討論:その1) 15回 調査・討論(全体討論:その2)</p> <p>クラス全体で最終発表を行う。各班は調査結果をパワーポイントを用いて発表するとともに、討論する。</p> <p>課題例: ソニーリチウム電池事故、日比谷線脱線衝突事故、シンドラエレベータ問題、六本木回転ドア事故、スペースシャトルチャレンジャー・コロムビア事故、H ロケット事故、東海村臨界事故、もんじゅNa漏れ事故、雲仙普賢岳噴火災害、長崎大水害、アスベスト問題など</p>		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	安全工学、事故、リスクアセスメント、安全文化		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全工学資料室にある資料(安全工学に関する参考書、安全工学や事故に関するビデオ)を利用する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法: レポート70点, プレゼンテーション30点の合計が60点以上を合格とする。 ・評価基準: 事故をよく調査しているか。関係者の事故や災害への対応とその後の対策についてよく調べているか。リスクアセスメントや事故後の情報や対策の展開の妥当性について考えているか。プレゼンテーションはわかりやすかったか。 		
受講要件(履修条件) / Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の「安全・安心のモジュール」を聴講していることが望ましい。 ・全回出席を原則とする。 		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587057501	科目番号 / Subject code	05870575
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (地域における共生と住環境) / A Symbiotic Relationship and Living Environment About City Zone		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]本館11 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	y-sasano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部5階511研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2369		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日 3時限		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	片淵キャンパスにおける実践的・体験的な活動を通して、これからの住環境の計画の考え方や地域の理解およびそこの住空間の見方・考え方についての基礎的な知識や技術を学びます。その上で、私たちが生活する長崎という地域の住環境を新たな視点で考えます。		
授業到達目標 / Goal	私たちが学ぶ片淵キャンパスの空間の中から課題を見つけ、考察することで地域における課題を解決する資質や能力の習得を目標にしています。すなわち、講義で学んだ知識を地域に貢献できる汎用的能力の習得を目指します。		
授業方法 (学習指導法) / Method	学んだ知識を活用し、考察・議論します。		
授業内容 / Class outline/Con	1. リカレント教育 2. アクティブラーニング (フィールド調査) 3. 課題解決学習		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	高校・家庭科教科書の事前学習 ネット情報検索など		
キーワード / Key word	都市領域 地域 共生 住環境 コモンスペース		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	試験50% 課題(図面を含む)30% 学習意欲・態度20%で、合計60%以上が合格 欠席が1/3以上の場合は失格		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	この講義では、地域に住まうことを主テーマに展開しますので、私たちが住んでいる地域・生活に興味を持って、そこの住環境はどうなっているのか等を注意深く見てほしいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
	長崎における地域の在り方を考える(1) イントロダクション		
	長崎における地域の在り方を考える(2) 行政の取り組み		
	長崎における地域の在り方を考える(3) 大学での研究		
	リカレント教育(1) 住環境についての基礎知識と技術		
	リカレント教育(2) 空間認知についての基礎知識		
	片淵キャンパスにおけるアクティブラーニング(1) 空間認知・把握のための実践的・体験的活動		
	片淵キャンパスにおけるアクティブラーニング(2) 講義室で考える安全で快適な住空間		

	片淵キャンパスにおけるアクティブラーニング(3) 校舎で考える避難動線と日常の快適さ
	片淵キャンパスにおけるアクティブラーニング(4) キャンパスで考える住環境の計画・評価
	長崎における住環境の計画と都市領域(1)
	長崎における住環境の計画と都市領域(2)
	長崎における住環境の計画と都市領域(3)
	長崎における住環境の計画と都市領域(4)
	比較・考察
	議論・提案

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588007003	科目番号 / Subject code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi@nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab@q.vodafone.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトは、物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り、有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に、ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び、動物行動科学の応用性と薬物の有用性、有害性について一般教養レベルで理解する。		
授業到達目標/Goal	動物の行動から何がわかるか説明できるようになる。一般教養として、動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる。薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する。		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業内容/Class outline/Con	動物の行動の基本事項、動物モデル、行動機能試験、医薬品の適正使用と薬物乱用など多様な行動機能を学習し、行動分析の意義を理解する。動物実験とデータ処理について学び、動物行動科学の裏づけを学ぶ。 第16回目: 定期試験を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした自宅学習用課題を配布し、学習の完成度を高めます。随時、提出を求め、成績評価に組み込みます。		
キーワード/Key word	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(50%)、随時行う講義中の小テスト、レポート(30%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動、動物実験とその意義		
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル		
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安、ストレス		
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ		
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析		
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存		

第7回	動物の行動機能試験（6） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験（7） 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験（8） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験（9） 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理（1） 動物実験で使用される基本的検定法 1
第12回	動物実験とデータ処理（2） 動物実験で使用される基本的検定法 2
第13回	動物実験とデータ処理（3） 動物実験で使用される基本的検定法 3
第14回	動物実験とデータ処理（4） メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170588007101	科目番号 / Subject code	05880071
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	ASEANのいろいろ / All About ASEAN		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]本館11(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6300(代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時応談		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>本講義は、ASEAN(東南アジア諸国連合)を構成する各国社会事情について、網羅的に理解することを目的とする。</p> <p>ASEANは、わが国による経済活動にとって、枢要な位置を占める。食糧確保や防衛、周辺諸国を含めた環境保護にとっても、重要な地域である。同地域社会事情に関する知見は、一般教養であるとさえ言える。にもかかわらず、さほど知られる知見であるとも言いがたい。ASEANを構成する国名をすべてそらんじることができる人々が、何人いるだろうか。</p> <p>そこで担当者は、同地域における地理、歴史、人口、経済に着目、これらを網羅的に解説することを企図するに至った。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>本講義は、以下3点を、講義目標として提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ASEANに関して提供した知見を、正確に獲得すること。 2. 同地域に関心を抱くこと。 3. 同地域において発生し得る社会問題を考察すること。 		
授業方法(学習指導法)/Method	講義による		
授業内容/Class outline/Con	本講義は、ASEAN各国における地理、歴史、人口、経済に関する知見を提供する。とくに、ASEANと呼ばれる各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム)については、時間を割いて解説する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東南アジア諸国連合 2. 持続可能性 3. 社会貢献 4. 環境保護 5. 人口構造 		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。講義担当者が配布する資料および各機関が作成した各国事情に関する資料を用いる。一例として、国際協力銀行による資料(https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment)を挙げる。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>本科目は、以下4点を、成績評価基準とする。カッコ内は、成績評価に占める重要度を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験(50%) : 定期試験期間中に実施する。 2. 小テスト(@10%×2回、20%) : 期中に2回実施する。 3. 予習用課題(@1%×15回、15%) : 講義当日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 4. 復習用課題(@1%×15回、15%) : 講義日翌日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 		
受講要件(履修条件)/Requirements	特にない。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4回以上欠席した受講者は、理由の如何を問わず、定期試験を受験する権利を喪失する。 2. 本講義は、必携PCおよびスマートフォンを用いる。持参して出席すること。 3. 講義内容に関する質問を歓迎する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション：本講義目標、方法、成績評価基準について説明する。受講者がASEANについてなにを知っているか（知らないか）に関する調査も実施する。
2	世界とわが国とASEAN その1：おもに経済的側面について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
3	世界とわが国とASEAN その2：経済的側面を除く社会事情について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。
4	タイ その1（歴史・地理・人口・経済）
5	タイ その2（企業と産業）
6	タイ その3（社会貢献と昨今の情勢）
7	マレーシア
8	Mid-term ASEAN Quiz
9	ベトナム その1（歴史・地理・人口・経済・企業）
10	ベトナム その2（食料生産と環境保護）
11	フィリピン
12	インドネシア
13	その他各国 その1（ラオス、カンボジア、ミャンマー）
14	その他各国 その2（ブルネイ・ダルサラーム、シンガポール）
15	総括とASEAN Quiz その2
16	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590001050	科目番号 / Subject code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(19:30~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることができるリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス「体験的・さまざまな比較文化論」も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)
第2回	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第3回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/
第4回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第5回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第6回	『音の連結』を聞き取るパターン (リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第7回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音 /j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第8回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第9回	『同化』を聞き取るパターン(1) (半母音 /j/に絡む音変化)
第10回	『同化』を聞き取るパターン(2) (半母音 /j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第11回	『同化』を聞き取るパターン(3) (/n/の後続音への影響)
第12回	On an Airplane(1)
第13回	On an Airplane(2)
第14回	At an Airport(1)、洋楽を利用したリスニング
第15回	At an Airport(2)、洋楽を利用したリスニング、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590001051	科目番号 / Subject code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11162_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館201(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所312		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月 17:00 - 18:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	e-learning教材を用いて、リスニング、スピーキング、発音、また、語彙やイディオムを総合的に学ぶ。 具体的には、English Centralを用いて、さまざまなトピックのスピーチ、インタビュー、会話などの教材を通じて、聞き取り(ディクテーション)、発音やスピーキング、語彙やイディオム(必要に応じて、文法事項)などの学習を行う。		
授業到達目標 / Goal	リスニングやスピーキング、語彙・イディオム、文法の力を伸ばす。		
授業方法(学習指導法) / Method	CALL教室にて、担当教員による解説のほか、個人個人による練習、Pair-Work Group-Workなど、コミュニケーション活動を重視する		
授業内容 / Class outline / Con	教材に基づき、以下の事柄を学習し、実際に運用できるようにする。具体的な内容は以下の通り(ただし、教材は日々更新されているので、以下の内容はおおよその目安と考えてもらいたい。また、受講生の興味・関心を勘案し教材を変更する可能性がある)。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English Central (3000円程度) ほか、資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回、授業の終わりには、ふりかえりを提出してもらう。これらが全体で30点に相当する。 また、小テストを3回行う(最後の小テストはテスト期間になる予定)。1回10点×4回=40点である。 English Centralの指定された課題が30点である。 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility			
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 また、進捗状況に応じて、Quizの日時等に変更になるので留意されたい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction English Centralの基本的な使用法		
第2回	Interview of Kei Nishikori (1)		
第3回	Interview of Kei Nishikori (2)		
第4回	Daily Conversation (1)		
第5回	Daily Conversation (2)		
第6回	Quiz 1 Pronunciation (1)		

第7回	Travel Conversation (1)
第8回	Travel Conversation (2)
第9回	Daily Conversation (3)
第10回	Quiz 2 Pronunciation (2)
第11回	Daily Conversation (4)
第12回	Steve Jobs' Speech (1)
第13回	Steve Jobs' Speech (2)
第14回	Quiz 3 Pronunciation (3)
第15回	Pronunciation (4) Catch-up & Review
第16回	Quiz 4

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590003050	科目番号 / Subject code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所 2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了直後、またはメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	スピーキング、ライティングに役立つ英語の表現上の「公式」を学習します。		
授業到達目標/Goal	基本的な英文を作成するための公式を身につけ、スピーキング、ライティングにおいて英語で発信することが以前より容易になることを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回3つの公式を学習して、空所補充式問題、整序問題、英作文の中で活用します。授業中で英文作成のための時間をとりますので、各自積極的に課題に取り組むことが望まれます。		
授業内容/Class outline/Con	毎回、英文作成をしながら、3つの「公式」を学習します。ほぼ毎回の課題提出と1~2回の復習テストを予定しています。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前にテキストの問題の箇所を指定するので、解答して授業に参加すること。また、授業後、その回の学習内容に関わる課題を出すので次回までに取り組んで下さい。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	金子・シンプソン(著) English Translation Using Basic English Formulas (公式で作る英語表現) 南雲堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加状況(課題等も含む) 50% 期末試験、復習テスト50% 以上により総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	ある一定の回数以上欠席すると、期末試験の受験資格がなくなります。30分以上の欠席、授業終了前の早退は欠席と見なします。特別な事情がある場合は個別に相談して下さい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション ~してから...年になる 必ず~する ~してはいかがですか/~しましょうか		
第2回	~とは驚きです(驚きます) ~しがちである 実をいうと(実は)/率直に言って		
第3回	どんなに~でも ~したい ~すれば必ず...する		
第4回	~といっても過言ではない ~したほうがよい すべてが~とは限らない(部分否定)		

第5回	<p>~ほど...なものはない</p> <p>~すればするほど</p> <p>~どころか</p>
第6回	<p>~とは残念だ(残念ながら、~だ)</p> <p>~するつもりである</p> <p>~するやいなや(するとすぐに)...</p>
第7回	<p>1回目~6回目の内容の復習テスト</p> <p>~する必要がある</p> <p>~することになっている(習慣・癖)</p> <p>...せよ、そうすれば/さもないと</p>
第8回	<p>AもBも~である</p> <p>たいへん/(非常に)~なので...だ</p> <p>~にもかかわらず</p>
第9回	<p>...するのに~かかる</p> <p>~せざるをえない</p> <p>たとえ(いくら)~だとしても</p>
第10回	<p>~するのはむだだ</p> <p>~だと思ふ</p> <p>~年(日/週)ぶりに/久しぶりに</p>
第11回	<p>~のように見える(~のようだ)</p> <p>まるで~のように/と同様に</p> <p>~のために(目的)</p>
第12回	<p>~こそ...である</p> <p>~は...と同じ</p> <p>~のために(原因・理由)</p>
第13回	<p>よく~したものだ</p> <p>~は...と同じ</p> <p>もし(万が一)~ならば</p>
第14回	<p>~は当然である</p> <p>~に...させる</p> <p>初めて/はじめは</p>
第15回	<p>もし~がなければ(ないとしたら)</p> <p>~なので/~だから</p> <p>まったく~ない(全部否定)</p>
第16回	<p>授業の総括(試験を含む)</p>

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 6
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590003051	科目番号 / Subject code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11262_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	白水 桂子 / Shirouzu Keiko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所 2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業直後、またはメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	コミュニケーションに必要な英語のWritingのスキルを身につけるように学習していきます。		
授業到達目標/Goal	自分が伝えたい内容を、以前よりも容易に英文で表現できるようになることを目標とします。		
授業方法(学習指導法)/Method	Listeningによる内容把握なども行いながら、与えられた場面において伝達したい内容を英文で表現できるように、文法も確認しながら学習していきます。		
授業内容/Class outline/Con	授業ではListening等も交え、Writingの活動を行います。文法テストや課題提出も予定しています。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	指定箇所を授業の予習として済ませてきてください。学習内容の復習としての課題も予定しています。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	工藤・Poland (著) Have Fun Writing! (楽しく学ぶ英文ライティング入門) 金星堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加状況(課題なども含む) 50% 復習テスト・期末試験50% 以上により総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	ある一定の回数以上欠席した場合は、期末試験の受験資格がなくなります。20分以上の遅刻や授業終了前の早退は欠席と見なします。特別な事情がある場合は個別に相談してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	オリエンテーション Welcome to the Party! 友人へメールを書こう		
第2回	I'm Planning to Study Abroad 先輩や先生にメールを書こう		
第3回	I'm Afraid That It Was Damaged 苦情のメールを書こう		
第4回	Isn't It Exciting to Go Out? 自分の出来事を書こう		
第5回	My Memorial Pictures 写真や絵を説明しよう		
第6回	What I Experienced 印象的な思い出を説明しよう		
第7回	第1回目から第6回目までの復習(試験を含む)		
第8回	How Long Did You Sleep? グラフや図を説明しよう		
第9回	I Like Tennis the Best アンケートをまとめよう		

第10回	In My Opinion ... 調査の結果から意見を言ってみよう
第11回	Do You Agree with My Idea? 賛成 / 反対を表明しよう
第12回	I'd Like to Have a 'Free Space' 自分の要望を述べよう
第13回	Let Me Introduce Myself 自分の紹介文を書こう
第14回	My Hobby Is ... 自分の趣味を書こう
第15回	This Is My Dream 自分の夢を書こう
第16回	授業の総括 (試験を含む)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005050	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 本館 11 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所312		
担当教員TEL/Tel	820-6376		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金 17:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	音声教材を用いて、音声面の特徴の理解にとどまらず、語彙やイディオム、文法について学ぶ。具体的には、90分の授業を3つに分ける：5分間リスニング演習と解説； Check the Soud (英語の音声に関わる特徴を体系的に学ぶ)； 洋楽(や日本の音楽が英訳された曲)を用いた演習と解説。		
授業到達目標 / Goal	英語音声の特徴が理解できるようになること、および、実際に聞き取ることができるようになること。 曲にまつわる文章を通じての読解力の習得。 および、基本的英文法の習得		
授業方法 (学習指導法) / Method	音声教材の聞き取り演習、Pair-Work、Group-Work、ならびに教員による講義		
授業内容 / Class outline / Con	教科書に基づき、以下の事柄を学習し、実際に運用できるようにする。具体的な内容は授業計画の通り。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	英語リスニング 英語リーディング 基本英文法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English with Hit Songs, Teruhiko Kadoyama & Simon Capper, SEIBIDO. 文法事項について言及するので、高校時に使用した参考書を持参してください。もし購入する場合、『フォレスト』をお勧めします。 また、辞書を持参すること。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回、授業後には、ふりかえりを行う。これらは全体で40点に相当する。 また、小テストを3回行う(最後の小テストはテスト期間になる予定)。1回20点×3回=60点である。 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 内容は理解度に応じて、変更する場合がある。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction 強弱をつける(1) : I just called to say I love you		
第2回	強弱をつける(2) : Take me out to the Ball Game 文法 : ifの2つの用法		

第3回	音の連結(1): To Love You More 文法: 現在完了
第4回	音の脱落(1): Open Arms 文法: 分詞
第5回	注意すべき母音: Life 文法: 品詞 (Winter Wonderland)
第6回	Quiz 1 音の同化: Don't Look Back in Anger 文法: 知覚動詞
第7回	音の脱落(2): A Whole New World 文法: 関係副詞 (Grandfather's Clock)
第8回	音の変化の複合: I don't want to miss a thing 文法: 助動詞
第9回	音の弱化: The Stranger 文法: 関係代名詞
第10回	音の連結(2): Hey now 文法: 不定詞
第11回	Quiz 2 音の脱落(3): Every time I close my eyes 文法: 接続詞
第12回	短縮形の音(1): Kiss of life 文法: 完了不定詞
第13回	短縮形の音(2): All I want for Christmas is you 文法: 5文型
第14回	音の脱落(4): Livin' la vida loca 文法: 使役動詞
第15回	Catch-up & Review
第16回	Quiz 3

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590005051	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション / English Communication		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 (19:30 ~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	前年度の既習項目である英語音声学の視点を取り入れたリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性 (音法) について再確認した後、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス「体験的・こまざれ比較文化論」も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材) (2) American (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表) 30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)
第2回	既習項目(音法)の再確認
第3回	At an Airport (1)
第4回	At an Airport (2)、VTR
第5回	Taking a Taxi(1)
第6回	Taking a Taxi(2)
第7回	Taking Public Transportation(1)
第8回	Taking Public Transportation(2)、VTR
第9回	At a Hotel(1)
第10回	At a Hotel(2)、VTR
第11回	Making a Phone Call(1)
第12回	Making a Phone Call(2)、VTR
第13回	At a Restaurant(1)、洋楽を利用したリスニング
第14回	At a Restaurant(2)、洋楽を利用したリスニング
第15回	At a Restaurant(3)、洋楽を利用したリスニング、まとめ
第16回	<p>定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。</p>

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590009050	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(19:30~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講座は、単なるテキストに忠実な英文講読の演習のみを目的とするものではなく、テキストの英文を通して文化的差異に関する情報を収集し、文化にアプローチを試みながら、異文化理解の促進を第一義的な目的に据えるものである。市民レベルでの生活習慣、生活文化等の文化的差異を正しく認識し、日本人と英語圏の人々の思考過程・価値観・行動様式について、実相への理解を追究すると同時に、比較文化的視座から具体的例証に基づいてその論理の相違を実証的に解明、考察していくことが本講座の究極のテーマとなる。		
授業到達目標/Goal	英文に対する速読力と直読直解力を養成する。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解する。 固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持つことの大切さを理解する。 国際人としての資質を養い、“地球村”の一員であるという概念を理解し、共存・共生を目指して異文化に適応するための方法や日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを学ぶ。 日本の伝統と文化を尊重する態度を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	異文化理解をテーマにしたリーディング素材の読解にアプローチを行っていくが、その際、Simultaneous Interpretation Method(同時通訳方式)やスラッシュ・リーディングという読解法を利用して英文を速く正確に読み取る能力の養成を目指しつつ、毎時これを実践する。このリーディング技術を修得すれば、英文を読むスピードが増し、短時間に必要な情報を読み取ることができるようになる。また、異文化に関して提示されたアジェンダに対する授業中の発表活動(積極的な発言や自発的な調査結果の発表)も求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
授業内容/Class outline/Con	授業は、受講者の自発的な発表を重視した演習形式で進めていく。また、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまざれば比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習、及び異文化理解につとめる姿勢を持って、積極的に異文化に関する情報を収集しておくことを求めたい。		
キーワード/Key word	速読、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Cultural Differences (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>言語と文化は表裏一体と言われますが、言語を習得するためには、その言語を使用する人々の日常を反映する文化やコミュニケーション事情についても同時に学ぶことが大切です。本講座の受講を機に、英語国民とのコミュニケーション・ギャップや文化摩擦の根底にあるものを認識し、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを模索していただきたいと思います。諸国の違いは多々あれど、違いを知ることによって共存への道を探ることが今後一層求められていく時代になるものと思われます。常に海外の事情にも注視する姿勢を保ち続けてください。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>第1回</p>	<p>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)</p>
<p>第2回</p>	<p>日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~</p>
<p>第3回</p>	<p>日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~</p>
<p>第4回</p>	<p>日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~</p>
<p>第5回</p>	<p>日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~</p>
<p>第6回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions()~</p>
<p>第7回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions()~</p>
<p>第8回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Body Language()~</p>
<p>第9回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Body Language()~</p>
<p>第10回</p>	<p>日米文化比較~Differences in Body Language()~</p>
<p>第11回</p>	<p>日米文化比較~Hamburger and Curry()~</p>
<p>第12回</p>	<p>日米文化比較~Hamburger and Curry()~</p>
<p>第13回</p>	<p>日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from?()~</p>
<p>第14回</p>	<p>日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from?()~ 日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~</p>
<p>第15回</p>	<p>日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~、まとめ</p>
<p>第16回</p>	<p>定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や提示したアジェンダに対する発表活動により、上記の進捗設定が変動する場合もある。</p>

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後 期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 7
開講期間 / Class period	2017/09/29-2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590011050	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	新井 恭子 / Kyoko Arai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	新井 恭子 / Kyoko Arai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	新井 恭子 / Kyoko Arai		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済]新館101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arai-k@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了直後、またはメールで。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>高校までの受験英語をビジネスのための実践英語に変換し、経済・経営に関する英文を読解・応用できるようになることを目標としている。教科書は日本市場に参入した外資系企業の失敗と成功についてのエッセイと多くのケースワークからなっている。それに沿って、アクティブに英語学習を行いながら、ビジネス英語の表現と単語を学び、TOEICテストの準備も行う。また、各企業の英語のホームページやビジネスニュース、ジャーナルなどを積極的に読み、情報を収集し、英語のプレゼンテーションにまとめて発表を行うことで、実践的な英語力も養成する。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>授業内だけでなく、教科書に沿って予習、課題、ミニテスト準備などをやりながら、自宅・通学途中でも継続的に英語学習を行うことで総合的な英語運用能力の向上を目指す。</p> <p>具体的な目標は以下のとおりである。</p> <p>毎回の速読のミニテストで、最終的にはスピードが2倍になること。</p> <p>単語・熟語テストは毎回8割以上正解する。</p> <p>ビジネス英語の表現・単語・熟語を記憶し、速読の力を身につけ、TOEICテストのスコアは500点以上を目指す。</p> <p>英語の情報を収集し、口頭発表を組み立て、パソコンの発表用ソフトウェアを使って、英語で発表ができるようになること。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>教科書は日本市場に参入した外資系企業の失敗と成功についてのエッセイと多くのケースワークからなっている。それに沿って、アクティブに英語学習を行いながら、ビジネス英語の表現と単語を学び、TOEICテストの準備も行う。また、各企業の英語のホームページやビジネスニュース、ジャーナルなどを積極的に読み、情報を収集し、英語のプレゼンテーションにまとめて発表を行うことで、実践的な英語力も養成する。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>毎回テキストに沿って、速読練習、読解、新出単語確認、ワークショップ、TOEIC形式問題解答という流れで実施する。中間と最後に外資系企業の資料を集めて、パワーポイントか資料で英語で発表をしてもらう。2回に1回単語テストを実施する。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>予習 = 次回学習する教科書の文章の知らない単語は調べておく。</p> <p>単語・熟語テスト = 毎回のテストのために単語・熟語を暗記する。(記憶する単語・熟語のプリントを渡す。)</p> <p>課題 = グループワークのための発表原稿と発表資料作成は自宅で作成する。</p> <p>速読練習 = ホームページで英語の情報を読んだり、速読練習用のスマホのアプリなどで練習する。</p> <p>リスニング練習 = DVDを英語で見たり、YouTubeで英語の番組やニュースを見て、聞き取りの練習をする。</p>		
キーワード/Key word	Reading, Speaking, Business English, Vocabulary		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『企業研究で学ぶ実用リーディング Doing Business in Japan』 新井恭子他著 音羽書房鶴見書店2011		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加状況 (授業態度・発表) 30%、単語・熟語テスト10%、発表2回の成績30%、定期末テスト成績30%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学で、は、全ての学生が、平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び、合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	なるべく英語のWebsiteのニュースや記事を読んで日頃から英語で読むことに慣れてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 / 10/11	1. オリエンテーション、授業の進行方法・評価のしかたなどの説明、自己紹介、グループ作り。
第2回 / 10/18	2. Case Study 1 Coca Cola (Japan) Co., Ltd.
第3回 / 10/25	3. Case Study 2 Apple Inc.
第4回 / 11/1	4. 英語での映画鑑賞「Battle of Silicon Valley」 (80年代のApple社とMicrosoft社の攻防を描いたアメリカのドラマ)
第5回 / 11/8	5. Case Study 3 Warner Music Japan
第6回 / 11/15	6. Case Study 4 H&M Hennes & Mauritz AB
第7回 / 11/22	7. Group Work 英語による企業説明プレゼンテーション準備
第8回 / 11/29	8. Group Work 英語による企業説明プレゼンテーション発表
第9回 / 12/6	9. Case Study 5 Air Canada
第10回 / 12/13	10. Case Study 6 Universal Studios Japan
第11回 / 12/20	11. Case Study 7 Proctor & Gamble Japan
第12回 / 1/10	12. Case Study 8 McDonald's Holdings Company Japan
第13回 / 1/17	13. Group Work 英語による企業研究プレゼンテーション準備
第14回 / 1/24	14. Group Work 英語による企業研究プレゼンテーション発表
第15回 / 1/31	15. Group Work 英語による企業研究プレゼンテーション発表

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 7
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590013050	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介 / Yamazaki Yusuke		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(3P2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英米の社会情勢、歴史、哲学、環境、科学、そして物語作品について書かれたTextを読み、英語の言語表現を学ぶ。ビジネス英語や時事英語とは違う人間味あふれた英語により英語という言語を身近に感じてほしい。同時に、Grammarを確認しながら、4技能(Listening, Speaking, Reading, Writing)も重視したい。		
授業到達目標 / Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで発音の向上を目指し、英語による表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法) / Method	語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力と表現力を養う。		
授業内容 / Class outline / Con	毎回1つずつChapterを進む。Reading A.Exercises B. Grammar Focus & Practice C. Further Studyの流れで進む。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading and Think: 12 Inspiring Message(Michiko Iwanaga/Atsuko Uemura/Sumiko Yoshida/Minoru Yoshida-Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	中間試験40%、定期試験40%、小テスト20%		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility			
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語運用能力を確実にするために、予習・復習の時間をきちんと設定しましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation & Introduction		
第2回	Chapter 1 : Severn Cullis-Suzuki's Address to the Plenary Session at the Earth Summit 「12才の少女が環境サミットで語った伝説的スピーチ」 A. Exercises B. Grammar Focus: 文型 C. Further Study		
第3回	Chapter 2: Free the Children 「児童強制労働廃止に立ち上がった少年」 by Craig Keilburger A. Exercises B. Grammar Focus: 過去完了形(had + 過去分詞) C. Further Study		
第4回	Chapter 3: The Legacy of Landmines 「地雷問題の現状、ユニセフの報告」 A. Exercises B. Grammar Focus: 比較の用法 C. Further Study		

第5回	Chapter 4: President Kennedy's Inaugural Address 「ケネディー大統領就任演説」 A. Exercises B. Grammar Focus: 使役 C. Further Study
第6回	Chapter 5: Albert Einstein: VOA Special English Science Report 「科学を変えた人アインシュタイン博士」 A. Exercises B. Grammar Focus: 不定詞と動名詞 C. Further Study 3stepCALLSystem 1 回目
第7回	Chapter 6: Dr. Wangari Maathai's Nobel Peace Prize Acceptance Speech 「ワンガリ・マータイさん、ノーベル平和賞受賞演説」 A. Exercises B. Grammar Focus: 関係詞の制限用法と非制限用法 C. Further Study
第8回	中間のまとめ（筆記試験を含む）
第9回	Chapter 7: Many Winters 「今日は死ぬのもってこいの日」 by Nancy Wood A. Exercises B. Grammar Focus: 目的、結果の接続詞、so that とso ~ that... C. Further Study
第10回	Chapter 8: Condensed Philosophy 「5人の哲学者の言葉 - ソクラテス、ホッブス、デカルト、ニーチェ、カミュ」 A. Exercises B. Grammar Focus: 分詞構文 C. Further Study
第11回	Chapter 9: COSMOS 「コスモス わたしたちは星の子」 by Carl Sagan A. Exercises B. Grammar Focus: 前置詞 + 関係代名詞 C. Further Study 3stepCALLSystem 2 回目
第12回	Chapter 10: MOMO 「モモ、時間の意味を求めて」 by Michael Ende A. Exercises B. Grammar Focus: 譲歩を表す副詞節を導く複合関係詞 C. Further Study
第13回	G-TELP の実施
第14回	Chapter 11: The Little Prince 「星の王子さま、本当に大切なものを求めて」 by Antoinette Saint-Exupéry A. Exercises B. Grammar Focus: 倒置 C. Further Study
第15回	Chapter 12: Peter Pan 「ピーターパン、永遠の子供と出逢って」 by James Barrie A. Exercises B. Grammar Focus: 仮定法 C. Further Study
第16回	後半のまとめ（定期試験を含む）